

平成 26 年度

社会福祉法人 湖南市社会福祉協議会

事 業 報 告

= 事業総括 =

今日、長かった経済不況と雇用情勢の悪化の影響で、一時期よりは経済状況も改善されているとは言われていますが、生活の格差、貧困の問題は、まだまだ厳しいものがあります。

また、家族・地域のつながりの希薄化による子ども、高齢者、障がい者へのいじめ、虐待、孤独死など痛ましい事件が多く発生しています。

このような中で、地域福祉の推進、地域のつながりの強化を目指している本社会福祉協議会としては、担うべき役割、市民のニーズに応えるべき課題が多くあります。その役割の一つである経済的困窮や社会的孤立の生活支援のための生活困窮者自立支援法の施行に対しては、各職員の研修等を行い、準備を進め、本社会福祉協議会としては、家計相談支援事業を実施していくこととなりました。

平成 26 年度から本社会福祉協議会として、福祉出前講座を開設し、地域に出ての地域福祉の充実を目指しました。これについては、周知が十分にできなかつたため、利用が少ない結果となりましたが、今後も引き続き実施をして、福祉の啓発を行っていきます。

さらに、災害時の対応についても大きな役割を担うことになり、前年につき続き災害ボランティア講座を開催し、その後自主的なサークルを立ち上げていただくことができました。ただ本来の社会福祉協議会が行う災害ボランティアセンターの設置についての検討ができなかつたことが反省となります。

また、前年に引き続き、会費、募金についても財源検討部会を開催しました。減少してきている会費、募金の納入についての検討を行いました。社会福祉協議会として、活動内容の見える化、見せる化を図り、市民の理解を得ていくことに努めています。

平成 26 年度から市役所と社会福祉協議会の職員の人事交流を行いました。これにより、それぞれの職場の活性化を図り、今までと違った視点で、事業の新しい展開等を目指していきます。

1. 法人運営事業

(1) 本部事業 【 68,059,888 円】

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案 件	
26年5月26日	議案第1号	平成25年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	災害援護積立金、居宅介護事業安定化積立金 積み立てについて
	議案第3号	評議員の選任について
26年12月19日	議案第1号	定款の改定同意について
27年3月24日	議案第1号	定款の改定同意について
	議案第2号	基金積立金（福祉基金、善意銀行基金積立金）の取り崩しについて
	議案第3号	平成27年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○評議員会の開催

開催日	おもな協議内容	
26年5月28日	議案第1号	平成25年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
27年3月25日	議案第1号 議案第2号	定款の改定議決について 平成27年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
26年5月15日	平成25年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○その他

開催日	会議名（協議内容）
26年6月26日	新役員・新評議員に対する説明会 (体制、事業内容、予算等について)
26年12月1日	福祉サービス第三者委員会 (苦情受付体制の確認と各福祉サービスでの苦情受付状況の報告)

27年3月11日	財源検討部会 (会員増強と会費の増額、納入方法について)
----------	---------------------------------

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収 (6,143,392 円)

8月 法人・事業所会費依頼と徴収 (668,000 円)

- ・高額会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載
対象 4社 掲載 3社

2. 地域福祉事業

(1) 生活福祉貸付事業 【 1,062,748 円】

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食料品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種類	件数	貸付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金	11 <昨年 31 >	

○生活緊急一時としての貸付（県）

種類	件数	相談	貸付
緊急小口資金	53 <昨年 42 >		15 <昨年 4 >
臨時特例つなぎ資金	2 <昨年 1 >		0 <昨年 0 >

○失業による生活貸付（県）

種類	件数	相談	貸付
総合支援資金	15 <昨年 54 >		6 <昨年 17 >

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種類	件数	相談	貸付
福祉資金	18 <昨年 32 >		2 <昨年 3 >
教育支援	16 <昨年 13 >		8 <昨年 5 >

《行路者旅費貸付事業》

行路者に対する旅費として、切符により貸し付けた。

10 件 (内訳 柏原方面 2 件 草津方面 8 件) < 昨年 6 件 >

(2) 地域福祉権利擁護事業 【 518,875 円】

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：60 件 < 昨年 56 件 >

内訳：認知症高齢者等 12 件 知的障がい者等 29 件

精神障がい者等 17 件 その他 2 件

・年度内新規契約：14 件 (認知 4、知的 4、精神 4、その他 2)

解約：10 件 (認知 5、知的 1、精神 2、その他 2)

問合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問合わせ	1	0	4	6	11
問合わせ初回相談	5	3	6	4	18
相談援助	667	994	1148	160	2,969
計	673	997	1158	170	2,998
<昨年度計>	(483)	(832)	(1012)	(61)	(2,388)

(3) 地域福祉活動事業 【 1,246,578 円】

《地域福祉活動推進事業》

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

石部老人福祉センター	高齢者を対象とした「みんなの日」の開催
ふれあいの館	毎週月曜日 1 時 30 分より「ふれあいさろん」を開催 (手芸・囲碁などを通して交流)
社会福祉センター	1 階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動への協力や地域での支援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター (ボランティア 25 名) による地域での見守り活動をモデル事業として実施し、主に一人暮らし高齢者 (利用者 17 名) を対象に見守り活動を始めた。

《小地域福祉活動事業推進交付金事業》

まちづくり協議会が実施する小地域福祉活動を支援するため、交付金制度を設け、5つのまちづくり協議会が交付金を活用した事業を実施された。

- ・交付金を活用したまちづくり協議会

石部南学区、岩根、菩提寺、下田、水戸の各まちづくり協議会

- ・交付金審査委員会の開催

開催日 5月9日

- ・事業経過報告会の開催

開催日 3月7日

内容 ①各まちづくり協議会の事業発表

②講演 —「滋賀県内の支え合い事業の事例について」

滋賀県社会福祉協議会職員

参加者 約60名

(4) 活動助成事業 【 3,823,202 円】

《地区活動助成事業》

社協会費の還元による各区への福祉活動助成

世帯会費を各区の前年度（平成25年度；5,976,758円）の会費額の20%を地域福祉活動のために還元した。（地域福祉活動奨励金）

還元額合計 1,196,200円 <昨年 897,800円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。（12団体）

《小地域福祉推進事業》

- 石部地域での小地域福祉活動の推進

- ・福祉協力員の委嘱

・福祉協力員研修会の実施 5月8日（木）

- ・小地域福祉活動事業補助

ふれあいサロンの実施 8地区 延べ91回 <昨年98回>

見守り・安否確認活動 3地区

(5) 敬老会開催事業 【 2,317,492 円】

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設（6か所）で開催される敬老会に対して市内の70歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

- ・助成総額 2,025,000円

《敬老祝品贈呈事業》

88歳、90歳、99歳、100歳以上の方々に祝品を贈呈した。

・助成対象人数 253名 <433名 昨年度は85歳も対象としていた。>

(6) ボランティアセンター活動事業 【 4,308,687円】

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・平成25年度湖南市ボランティアセンター活動実績報告冊子 800部
- ・社協広報「福祉の輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

ボランティア依頼と調整

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、
子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会、自治会 など

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

○生活支援サポーター講座 (全5回) 参加者 30名

○災害ボランティア講座 (全4回) 参加者 81名

講座終了後 毎月第3金曜日 1時30分より「防災さろん」開催

○障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座

(全3回) 参加者 17名

～終了後、ホリデースクール事業参加～

○中高生ボランティア体験 (全3回) 参加者 25名

【手話体験と一人暮らし高齢者のためのケーキと給食づくりと配食を体験】

○親子自然であそぼ教室 (全2回) 16組参加

○ボランティアの親子教室 (全3回) 23組参加

○ボランティアの親子さろん (全7回) 20組参加

○レイカディア大学ボランティア体験説明会

○市内小中高校の体験学習

三雲東小学校	5年生 60名 アイマスク・車いす・手話・点字体験
石部高校	3年生 10名 手話体験、7/24・25・28 ホリデースクール参加
三雲小学校	3年生 85名 アイマスク体験、
菩提寺北小学校	3年生 42名 手話体験・視覚障がい者のお話し
石部南小学校	3年生 50名 点字・アイマスク体験

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

○第 26 回ボランティア祭り 平成 26 年 11 月 1 日 (土)

広くボランティア活動の理解を深め、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年 1 回開催。2,000 名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》 68 グループ 495 名 (前年度 494 名)

《一般体験コーナー参加人数》 203 名 《景品引き換え》 433 名

○国際交流活動

外国にルーツを持つ小中学生の学習お手伝い「Passo a Passo」を開催。

第 1 期 11 月～3 月 19 回終了。子ども 11 人、ボランティア登録 19 人。

《ボランティア活動基盤整備》

○ボランティア保険の加入

・ボランティア活動保険加入 885 名 (前年度 834 名)

・ふれあいサロン保険加入 46 名 (前年度 28 名)

○ボランティアグループへの活動助成

・72 団体に助成 (前年度 66 団体)

《その他》

○高齢者見守り活動事業

生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施…年間 224 回

○備品貸し出し…車椅子、かるた、カロム、プロジェクターなど

○ゴーヤカーテンプロジェクト

平成 24 年度から環境関係ボランティアと市内 27 か所 (保育園 8 か所、幼稚園 5 か所、小学校 3 か所、高齢者施設 4 か所、公共施設 7 か所) にゴーヤのカーテンを普及。種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間 23 回開催 延べ 1,374 個配食 <昨年計 1,437 個>

約 60 個／回 配食

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対し
て担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

・古着を 1 着 100 円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いた
だいた。

○行事などへのボランティア参加協力

- ・ 障害児ホリデースクール事業（社協）
ボランティア数＝延 366 名（前年度 329 名）

（7）広報活動事業 【 1,689,877 円】

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・ 平成 26 年 6 月発行（通刊 23 号 新聞折込）
- ・ 平成 26 年 10 月発行（通刊 24 号 新聞折込）
- ・ 平成 27 年 2 月発行（通刊 25 号 新聞折込）
- ・ ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

3. 受託事業

（1）社会福祉センター管理事業（指定管理） 【 4,393,195 円】

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供や高齢者の健康推進事業、相談活動を行った。

=貸館状況=

年間延べ 992 件	<昨年 1,178 件>
------------	--------------

平均	約 83 件／月 利用
----	-------------

（2）ふれあいの館管理事業（指定管理） 【 3,405,469 円】

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務とともに、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ 658 件	<昨年 延べ 666 件>
------------	---------------

約 55 件／月 利用

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

- 情報提供 市広報に講座開催に伴う参加者募集記事の掲載
- インターネットによる情報提供

《ボランティア教室や講座の開催、ボランティアの育成》

- バルーンアート V 講座 全 5 回 参加者 延べ 58 名
- お話相手 V 講座 全 4 回 参加者 延べ 52 名
- ボランティアさんのためのパソコン教室 全 2 回 参加者 延べ 15 名
- 親子でチーパッパ！「すずめの学校」

就園 1 年前の幼児親子とボランティアとの交流を目的として開催
毎月第 4 木曜日 10:00~12:00

全 12 回 参加者 延 510 名
約 43 名／回 参加

お母さんのための勉強会の開催 参加者 7 名

- こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催
不定期（春・夏・冬休み・土曜日など）

全 12 回 参加者 延 472 名
約 39 名／回 参加

《たまり場事業》

毎週月曜日 1 時 30 分より「ふれあいさろん」を開催
(手芸・囲碁などを通して交流)

《その他》

- 備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

(3) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）【 8,029,658 円】

市（高齢福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

= 貸館状況 =

年間延べ 722 件 <昨年 延べ 647 件>
平均 約 60 件／月 利用

= “和の湯” 利用状況（利用料 1 回 100 円）=

年間延べ 1,812 人 <昨年 延べ 1,434 人>
平均 約 151 人／月 利用

= 軽運動場管理事業 =

年間延べ 1,060 件 <昨年 延べ 1,044 件>
平均 約 88 件／月 利用

○ふれあいサロン「まめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。開催日の昼食は、同センター内で調理したものをお供えした。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎月第2金曜日

年間 11回開催 (7/11は台風接近により中止)

延べ 423人参加 <昨年延べ 399人> 平均約 38人／回参加

○老人福祉センターまつりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るために、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成26年5月31日（土）

来場者 約800人

協力団体 32団体

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

将棋を通して、思考力・集中力・決断力など技能の向上に加え、人との交流を深めながら愛好者の増加をめざし開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開催日 平成26年11月20日（木）

対局参加者 14人

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

① 書道教室（5/14～6回シリーズ） 参加者 14名

② 歴史講座（6/17～5回シリーズ） 参加者 28名

③ ブリザーブドフラワー教室（12/9） 参加者 36名

④ そば打ち教室（12/11） 参加者 14名

⑤ こんにゃくづくり教室（12/19） 参加者 20名

⑥ 着物リフォーム教室（2/12～5回シリーズ） 参加者 15名

○老人福祉センター「みんなの日」

高齢者が気軽に集える場として、また老人福祉センター周知のために、「みんなの日」を毎週1回開催し、軽食や喫茶の提供を行った。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎週水曜日

毎月 4回開催	延べ 1,413 人参加
平均 30 人／回	参加

○高齢者いきいき教室

60歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎週月曜日午前	登録者 14名 <昨年 14名>
年間 43回開催	延べ 407 人参加 <昨年延べ 379 人>
平均 9人／日、	約 33 人／月 参加

(4) 生きがい活動支援通所事業 (生きがい対応型デイサービス事業)

【 3,510,612 円】

=和 (なごみ) の家=

65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場 (石部老人福祉センター併設)

開設日 毎週火・水曜日

登録者 13名 <昨年 15名>
年間 97回開催 延べ 601 人参加 <昨年延べ 611 人>
平均 約 6 人／回、 約 50 人／月 参加
利用者の送迎 601 人／年

(5) 高齢者生きがいサロン事業 【 2,295,560 円】

《おたっしゃるーむ》

60歳以上の高齢者的心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館 (湖南省石部西二丁目 12-6)

開設日 毎週月・木曜日

登録者 11名 <昨年 10名>
年間 95回開催 延べ 739 人参加 <昨年延べ 593 人>
平均 約 7 人／回、 約 61 人／月 参加
利用者の送迎 739 人／年

《みくもいきいきサロン》

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター
(三雲ふれあいセンター)

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者 42名
年間 22回開催 延べ 272人参加
平均 約12人/回 参加

(6) 障がい児ホリデースクール事業 【 3,019,214円】

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の20日間 (7月22日から8月27日)

参加児童生徒	延べ 295名	<昨年 286名>
スタッフ	延べ 235名	<昨年 218名>
ボランティア	延べ 218名	<昨年 194名>
サポートボランティア	延べ 78名	<昨年 22名>

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

② 冬期休暇中の2日間

12月23・24日の2日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒	延べ 31名	<昨年 31名>
スタッフ	延べ 20名	<昨年 24名>
ボランティア	延べ 41名	<昨年 20名>
サポートボランティア	延べ 24名	<昨年 25名>

③ 春期休暇中の2日間

3月26・27日の2日間

「親子でバス旅行」 竜王アグリパーク

参加児童生徒	延べ 19名	<昨年 26名>
スタッフ	延べ 20名	<昨年 20名>
ボランティア	延べ 5名	<昨年 17名>

(7) ファミリーサポートセンター事業 【 3,005,430円】

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）を一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

（湖南市中央一丁目 38 平和堂甲西中央店内）

開設日時 毎週月曜日～金曜日 10:00～17:30

① センター運営事業

- ・会員交流会の開催 7月9日「デコパージュを楽しもう」、12月6日「クリスマス会～親子でクッキー作り」、2月17日「フラダンス」延べ41名参加
- ・休日（土曜日）特別開所 7月24日、11月1日、3月7日
- ・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月10日、9月24日 10月8日、10月22日、11月5日　述べ51名参加
- ・フォローアップ講座の開催 1月22日「子どもとのコミュニケーションのとり方」
- ・会員通信の発行
- ・平成25年度会員登録者 提供会員 86名
依頼会員 194名
両方（提供依頼兼務）会員 26名

②活動実績と内訳状況の内訳

項目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の預かり、送り	3	<2>
保育所・幼稚園の迎え、預かり	7	<2>
学童の送り	10	<13>
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え、預かり	10	<0>
子どもの習い事等の場合の援助	0	<10>
保育所・学校等休み時の援助	1	<5>
保護者等の短時間・臨時の就労の場合の援助	93	<2>
保護者等の求職活動中の援助	0	<0>
保護者等の外出や他の子どもの学校行事の場合の援助	15	<21>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	5	<0>
多胎児の保育援助	15	<137>
その他	16	<0>
合 計	175	<192>

サポートボランティア 延べ 9名 <昨年 10名>

（8）社会を明るくする運動事業 【 190,000 円】

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動を市内において展開した。

① 研修会の実施 期日 平成 26 年 7 月 1 日 (火)
内容 更生保護活動に関する講演、法務大臣
メッセージ伝達式、のぼり旗掲出活動
(60 本)
参加者 約 100 名

② 街頭啓発活動

7 月 2 日 平和堂菩提寺店前
7 月 3 日 平和堂甲西店前
7 月 4 日 平和堂甲西中央店前
7 月 8 日 平和堂石部店前
参加者 市内中学生、運動関係者

4. 居宅介護事業

利用者との契約に基づき、高齢者および障がい者の居宅介護サービスを包括的に進めた。

(1) 居宅介護支援事業 【 8,671,547 円】

介護保険制度における高齢者福祉サービスを中心に、その利用に関する相談や利用援助、また関連する高齢者事業への調整や関係機関との連携を行った。

居宅介護支援業務	介護予防マネジメント業務
利用者 延べ 503 人／年	利用者 延べ 86 人／年
約 42 人／月 <昨年約 49 件／月>	約 8 人／月 <昨年約 7 件／月>

(2) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス) 【 53,952,610 円】

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防訪問
利用者 延べ 881 人／年 <昨年 848 人／年>	利用者 延べ 132 人／年 <昨年約 137 人／年>
約 73 人／月 <昨年 70 件／月>	約 11 人／月 <昨年 11 人／月>
訪問回数 延べ 14,345 回 <昨年 17,074 回／年>	訪問回数 延べ 903 回 <昨年 951 回／年>
約 1,195 回／月 <昨年 1,422 回／月>	約 75 回／月 <昨年 79 回／月>

《湖南市ホームヘルプサービス事業》

湖南市より委託を受け、要介護認定で自立と判定された方や、介護保険事業の対象とされない方を対象に生活援助サービスを提供した。

延べ 59 名、217 回／年 < 昨年計 51 名、177 回／年>
約 4 名／月、18 回／月 < 昨年計 4 名、14 回／年>

《外出支援サービス事業》

独居高齢者等への通院や買い物の移送サービスを市受託事業として実施した。

延べ 19 名、20 回／年 < 昨年計 34 名、43 回>
約 2 名／月、2 回／月 < 昨年計 3 名、4 回>

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 21 名、35 回／年 < 昨年計 30 名、93 回／年>
約 2 名／月、3 回／月 < 昨年計 3 名、8 回／月>

《子育て支援ヘルプ事業》

新生児（6ヶ月未満乳児）のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 24 名、137 回／年
約 2 名／月、11 回／月

《特定旅客自動車運送（福祉有償）事業》

特定旅客自動車運送事業者(道路運送法 43 条及び 78 条を取得)として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 248 名、968 回／年 <昨年計 176 名、325 回／年>
約 20 名／月、80 回／月 <昨年計 15 名／月、27 回／月>

(3) 障がい者総合支援事業 【 3,021,974 円】

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 174 人／年 <昨年 147 人／年>	利用者 延べ 142 人／年 <昨年約 110 人／年>
約 14 人／月 <昨年 12 人／月>	約 11 人／月 <昨年 9 人／月>
訪問回数 延べ 961 回 <昨年 778 回／年>	訪問回数 延べ 365 回 <昨年 353 回／年>
約 80 回／月 <昨年 65 回／月>	約 30 回／月 <昨年 29 回／月>

《湖南市障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

介護なし	介護あり
2 対 1 利用者 延べ 67 人／年 約 5 人／月 訪問回数 延べ 168 回 約 14 回／月	2 対 1 利用者 延べ 3 人／年 約 0.25 人／月 訪問回数 延べ 7 回 約 0.58 回／月
3 対 1 利用者 延べ 35 人／年 約 2 人／月 訪問回数 延べ 88 回 約 7 回／月	3 対 1 利用者 延べ 2 人／年 約 0.1 人／月 訪問回数 延べ 3 回 約 0.25 回／月

(4) 福祉出前講座

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 3 回 参加人数 65 人
依頼先 学区民生委員、地域サロン、福祉団体
依頼内容
①地域福祉権利擁護事業 1 回
②介護保険制度 1 回
③ヘルパーによる寸劇 2 回
④介護予防、健康づくり体操、脳リハビリ体操 1 回

5. 善意銀行事業 【 2,304,584 円】

《善意銀行事業》

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立てるとともに、福祉車両は、本会の福祉活動に、車椅子については福祉機器貸出事業に活用した。

また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 3,330,506 < 昨年 1,584,359 円 >

寄付物品 福祉車両、車いす 2 台、米 150 kg、ほか 16 件

《催し物器具の貸出》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

また、利用の多い器具を新調した。

・貸出件数 合計 105 件

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
26 年度	37 件	29 件	24 件	6 件	9 件
<昨年度>	(20 件)	(25 件)	(22 件)	(3 件)	(7 件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 77 回 (27 年 3 月末現在)

《福祉自動販売機設置事業》

市内まちづくりセンター 9 施設、社会福祉センター、老人福祉センターおよび甲西図書館に自動販売機を設置し、福祉事業への財源確保に努めた。